

## (臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 集中治療室における急性呼吸不全に対する呼吸管理戦略の実態と転帰

[当院研究責任者] 部署名 救急部 氏名 寺町 涼

[研究の背景] 急激に進行する呼吸不全(急性呼吸不全)は様々な病気が原因となりますが、致命的になることがあります。現在は急性呼吸不全の治療として挿管・人工呼吸管理や専用マスクや鼻カニューレを用いた非侵襲的陽圧換気(NPPV)やハイフローセラピー(HFNC)などが用いられています。NPPVやHFNCなどの非侵襲的呼吸管理は、これまで慢性閉塞性肺疾患やうっ血性心不全の増悪など様々な病気に有効であることが言われてきました。一方で、この治療でも酸素化能が維持できない場合、治療強化の適切なタイミングを逃すと死亡率が増加することとも言われています。

近年、COVID-19 感染症の世界的パンデミックに伴い、これら非侵襲的呼吸管理の需要が高まってきています。その中で、急性呼吸不全に対してどの呼吸管理が選択されているか、またその治療成績についての本邦の実態は不足している状況です。その為、本研究では COVID-19 流行後に集中治療室に入院した急性呼吸不全の患者さんに対する呼吸管理の選択とその治療効果を検証することを目的としています。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

2021 年 5 月から 2025 年 3 月に公立陶生病院の集中治療室(ICU 又は ER-ICU)に入室した患者さんの中で、HFNC、NPPV、挿管人工呼吸管理のいずれかを受けた 18 歳以上の患者さん。

#### ●研究期間：研究実施承認日から 2030 年 3 月 31 日

#### ●利用する検体、カルテ情報

診療情報(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査)、急性呼吸不全の原因疾患、治療内容、入院情報、生存情報などの情報を収集します。

#### ●利用する検体、カルテ情報の管理

本研究で用いるカルテ情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

1. 研究代表者

公立陶生病院 救急部・部長・寺町涼

2. 研究分担者

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科・部長・横山俊樹

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科・部長・片岡健介

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科・部長・木村智樹

[個人情報の取扱い]

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学術集会で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 救急部 氏名 寺町 涼

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139